

国における２０２６年度教育予算拡充に関する意見書

教育は、日本の未来を担う子どもたちを心豊かに教え育てるという使命を負っている。しかし、日本の教育は、いじめ、不登校、少年による凶悪犯罪、さらには経済格差から生じる教育格差・子どもの貧困等、様々な深刻な問題を抱えている。また、各地で地震や豪雨、台風などの大規模災害が立て続けに発生した。災害からの復興は未だ厳しい状況の中にあると言わざるを得ない。

一方、国際化・高度情報化などの社会変化に対応した学校教育の推進や教育環境の整備促進、配慮を必要とする子どもに対する支援などの様々な教育諸課題に対応する教職員定数の確保等が急務である。千葉県及び県内各市町村においても、一人一人の個性を尊重しながら、生きる力と豊かな人間性の育成を目指していく必要がある。そのための様々な教育施策の展開には、財政状況の厳しい現状を見れば、国からの財政的な支援等の協力が不可欠である。

充実した教育を実現させるためには、子どもたちの教育環境の整備を一層進める必要がある。そこで、下記の項目を中心に、２０２６年度予算の拡充をされるよう強く要望する。

記

- １．災害からの教育復興に関わる予算の拡充を十分に図ること。
- ２．子どもたち一人一人にきめ細やかな指導をするため、公立義務教育諸学校の教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること。
- ３．保護者の教育費負担を軽減するために義務教育教科書無償制度を堅持すること。
- ４．現在の経済状況を鑑み、就学援助や奨学金事業に関わる予算をさらに拡充すること。
- ５．安心して学校生活を送れるよう、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等相談体制を充実させること。
- ６．多様な学びの場の充実を図り、誰もが学ぶことができる機会を保障するため、必要な予算措置を講ずること。
- ７．安全・安心で個別最適な学びを実現する施設環境の整備に向け、バリアフリー化や、洋式・多目的トイレ、空調設備設置等の公立学校施設整備費を充実すること。
- ８．ＧＩＧＡスクール構想を着実に推進し、学校現場における様々な課題に対応できる環境を整えること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和7年6月25日

千葉県成田市議会